

知事とのふれあい対話（枕崎市）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
子育て支援等に関する情報発信	<p>人口減少の中、働き手不足が企業にとって大きな課題になっていると思っており、子育て世代の方々が、できるだけ枕崎に残ってくれるような仕組みがあればと思っている。</p> <p>ホームページに、子育て世代に対しての取組や補助など様々な支援について掲載されていると思うが、どのような手続を踏む必要があるのかが分かりづらいと感じている。</p> <p>せっきくの施策なので、県民がより使いやすいようにしてほしい。</p>	<p>本県の子育て支援等に関する情報については、県のホームページをはじめ、「かごしま子育て支援パスポートWEBサイト」や「かごふれホットライン」などの専用サイトで周知を行っています。</p> <p>今後も、これらを活用しつつ、掲載内容の充実を図るとともに、必要な情報に容易にアクセスできるよう、使いやすさの向上に取り組み、分かりやすい情報発信に努めてまいります。</p>	<p>子育て支援課</p> <p>子ども家庭課</p>
体験型学習の充実	<p>枕崎市の別府地区は、保育園が1つ、別府小と別府中がある。30数年前から、皆で勉強や研修をするなど、顔の見える関係づくりを行っている。その研修の中で、体験は教育を変えるということを学んだ。国の取組としても、地域学校協働活動とあるが、体験型の学習は、子供にとってもすごくいいものだと思うので、より体験活動を充実させていきたい。</p>	<p>学校では、地域の支援等も受けながら、職業体験や地域文化の継承といった体験活動を通して、健やかな子供たちの学びや成長を支えています。</p> <p>青少年社会教育施設においても「なんさつわんぱく探検隊」などの自然体験や、鹿児島の特徴ある歴史や伝統、文化等をフィールドワークで体験する「かごしま 夢 有為塾」など、子供たちの未来を育む豊かな体験活動の充実に向けています。</p> <p>また、地域においては、放課後や土曜日等における農業体験や清掃活動等のボランティアなど、様々な体験活動が実施されています。</p> <p>今後も学校、青少年社会教育施設、地域住民、多様な団体等が相互に連携しながら、子供の体験活動の充実に取り組んでまいります。</p>	<p>義務教育課</p> <p>社会教育課</p>

知事とのふれあい対話（枕崎市）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
遊休農地の解消等	<p>農業委員になって、遊休農地が多いと感じている。枕崎市の遊休農地は、72.4ヘクタールで、東京ドーム15個分になる。</p> <p>定年退職された方や、農業に興味のある方に遊休農地を利用してもらい、作物の育て方の研修会などがあることを周知していくと、遊休農地解消につながるのではないかと思う。</p> <p>遊休農地にイノシシが巣をつくり、鳥獣被害につながるケースや、持ち主が亡くなっている、誰のものか分からない農地もあつたり、課題はたくさんあるが、これからも取り組んでいきたい。</p> <p>県女性農業委員も塩田知事と話したい方が多いと思うので、ぜひ女性農業委員と知事の対話の場を設けてほしい。</p>	<p>県では、農業に興味のある方などに対して、ホームページや広報誌等を通じて、本県農業の魅力や就農について広く周知し、就農意欲の喚起に努めております。</p> <p>農業を始めたい方に対しては、農業大学校において農業の基礎的な知識や技術が学べる「かごしま営農塾」の実施について、県ホームページ等で広く周知しているところです。</p> <p>また、荒廃農地の発生防止や解消を進めるため、市町村や関係機関等と連携しながら、農業生産活動の継続や農地の保全管理などの取組に対して支援を行うとともに、農業者等が行う農地の利用に関する計画策定や荒廃農地を含む農地の簡易な整備などの取組を支援しております。</p> <p>なお、農業委員を含め、農業の関係の皆様との対話を積極的に行ってまいります。</p>	経営技術課 農村振興課
水産加工品の原料の高騰	<p>令和3年度、枕崎市の産官学が連携して作り上げた「かつおボニートチップス」が天皇杯をいただいた。</p> <p>カツオの値段が高値で推移している。取る分には良いことだが、加工する場合には、原料が高くなって困っている。</p>	<p>県では、省力化や効率化等のために、漁協等が行う共同利用施設の整備や、鰹節製造業を含む加工業者が行う施設・機器整備等に必要な経費について、支援を行っているところです。</p> <p>また、加工業者の運転資金等に活用可能な水産加工経営改善促進資金等の融資制度を準備しておりますので、必要に応じて相談・活用を検討いただければと思います。</p>	水産振興課

知事とのふれあい対話（枕崎市）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
農水産物の販路拡大等	<p>市外・県外に商品を出し、外貨を稼ぐのが地域創生の一番手っ取り早い方法だと思う。</p> <p>枕崎市には、魚だけでなく、野菜・果物、肉もとてもいいものがある。今ずっとコロナの影響で、海外への輸出が行き止まってはいるようだが、国内での販売もまだまだ伸びる要素はあると思う。</p> <p>県と市、民間が力を合わせて、PRや販売を行い、稼ぐ力をつけていきたいと思っているので、力を貸してほしい。</p>	<p>県では、県産の農畜産物の販売促進を図るため、かごしまブランドを中心に、大消費地の高級果物専門店や量販店等でのフェアの開催や宣伝販売、ウェブサイトを活用した情報発信のほか、JA県経済連や各農協など県内産地と連携した販売促進活動を実施しており、県内外での認知度向上や販路拡大に継続的に取り組んでいます。</p> <p>また、水産物の販路拡大については、生産者団体等が行う首都圏の量販店等での県産魚の販売促進活動やSNS・情報誌等を活用した本県水産物の認知度向上への取組について支援しているところです。</p> <p>今後とも、関係機関・団体等と一体となって、県産農水産物の販売促進対策に取り組んでまいります。</p> <p>具体的な取組については、かごしまの食輸出・ブランド戦略室又は水産振興課に御相談ください。</p>	かごしまの食輸出・ブランド戦略室 水産振興課
スポーツによる地域振興への支援	<p>枕崎市の地域おこし協力隊として、スポーツによる関係人口の増加ということで女子野球をメインに活動している。</p> <p>女子野球は、メディアで触れられることは少ないが、地域をどんどん盛り上げていくため、枕崎市で女子硬式野球クラブチームを創設することを目標にしている。</p> <p>5月に枕崎市営野球場で女子野球の九州リーグを開催したりもしているが、枕崎市だけでなく、県も何か協力してもらうことはできないか。</p>	<p>県では、スポーツを通じた交流人口の拡大や地域活性化を図るため、スポーツイベント等を実施する民間事業者・団体等に対して支援を行っています。</p> <p>また、現在、スポーツを核とした地域活性化について、本県で活動している鹿児島ユナイテッドなどのプロスポーツチームとも情報共有を図っているところですので、まずは、県スポーツ振興課へ御相談ください。</p>	スポーツ振興課

知事とのふれあい対話（枕崎市）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
	<p>川辺トンネルは、吹上庵を超えたところから福平あたりまでトンネルになると想像していたので、完成した長さには残念な思いである。なぜ、長いトンネルを掘ることができなかったのか。</p>	<p>国道225号の川辺改良事業については、南九州市川辺町市之瀬から鹿児島市下福元町影原までの延長8.3キロメートルの区間において、国が、道路線形の改良による交通安全性の向上などを目的として整備し、平成24年度に完了したところで、川辺トンネルは川辺改良事業の一部として整備され、延長389メートルで平成15年度に完成しております。</p> <p>いただいた御意見につきましては、道路管理者である国へ共有してまいります。</p>	道路建設課
道路の整備	<p>南薩縦貫道は、自動車専用道路が知覧止まりで、枕崎までは一般道路である。国道改良工事は行われているが、県庁はまだまだ遠い状況である。なぜ知覧で止まるのか。</p>	<p>南薩縦貫道の塗木交差点から枕崎市の現道活用区間については、御意見のほか、地元期成会からは低速車対策としての機能強化の要望を受けております。</p> <p>南薩縦貫道については、令和3年6月に策定した「かごしま新広域道路交通計画」において、高規格道路に位置づけ、現在、南薩地域全体の広域道路ネットワークのあり方を検討しており、南薩縦貫道の機能強化についても検討してまいります。</p>	道路建設課
	<p>南九州道路を伊集院から枕崎まで延伸してほしい。県域の多くの箇所が被害に遭うような災害が起きた場合にも、枕崎が被害が少なかった場合には、いち早く復興できるかもしれない。国土強靱化の観点からも、是非、自動車専用道路を枕崎まで通してほしい。</p>	<p>道路整備につきましては、産業の振興や地域の活性化、県民生活の安心・安全の確保を図る観点から、地域の御要望や整備の必要性・緊急性などを考慮し、計画的に進める必要があると考えております。</p> <p>御意見をいただきました。南九州西回り自動車道の伊集院から枕崎までの延伸につきましては、今後の広域道路ネットワークを考える上での参考とさせていただきます。</p>	道路建設課

知事とのふれあい対話（枕崎市）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
県職員の副業	<p>少子化，人口減少が進む中で，長野県や，弘前市，有田市など，農業を中心に公務員の副業を認める自治体が増えている。人材不足である中，副業を活用して人材不足解消につなげる必要があるのではないか。</p>	<p>地方公務員法においては，職務の能率の確保や公正の確保といった観点から，職員が有償で事業または事務に従事する場合には，事前に許可を得る必要があるとされています。</p> <p>職員の副業については，許可の基準等について定める人事委員会規則に基づき，個別に判断してまいります。</p>	人事課
県職員の人事異動	<p>日頃，医療や福祉に携わっている中で，今の社会は，児童や障害を持った方，高齢者も含めて，非常に課題が多様化し，複雑化しているように感じる。</p> <p>このような中，県職員の人事異動について，3年間の間隔で異動するというのが，大まかな目安だと思うが，人事異動を行うメリット・デメリットがそれぞれあると思う。もう少し，専門的に，また継続的に市民と民間の力をつないでいく人材が今求められているのではと思っている。</p> <p>行政と市民と民間がチームになって，それぞれの個の力をしっかり線で結び，それを面にして，一つ一つの課題に対して取り組んでいく体制づくりが大事ではないか。</p>	<p>県職員の人事異動につきましては，業務の円滑な推進を図るため，職員の能力，経験，専門性などを総合的に判断して行っており，業務の継続性にも十分に留意しつつ，適材適所の人事配置に努めているところであります。</p> <p>特に，専門性が必要な部門については，人事異動による士気の向上にも配慮しつつ，職員の専門的知識や経験等を考慮して一定期間継続して特定の職員を配置するなどの対応を行っているところであります。</p>	人事課
補助金等支援の周知	<p>イベント開催に当たって，南薩地域振興局で地域振興推進事業の補助金を使ったが，補助金の種類がいくつかあり，一つ一つ調べて申請する必要があったと思う。</p> <p>例えば，カテゴリー別に大きく分けたり，フローチャートのような形で，たどっていけばこの補助金が良いと分かるような簡単な仕組みがあれば，ありがたい。</p>	<p>県では，国や県等の地域づくりに関する各種助成制度等を情報提供するため，「地域づくりオールガイド」を作成し，県ホームページ上に掲載しております。</p> <p>「各種産業の振興」や「交流・定住の促進」など，各事業区分別に体系立てて整理しておりますので，是非御活用ください。</p>	地域政策課

知事とのふれあい対話（枕崎市）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
花の消費 拡大	<p>県内の花の消費について、コロナ下で葬儀が減少し、消費が減っている。今、生産基盤が白の輪菊から、多種多様なスプレー菊などに変わってきている現状がある。県が消費に向け、力を入れてもらえると助かる。</p> <p>県が事業などを実施してくれることは、農業を続けていくには大変ありがたいが、県の補助を受けて投資をしたが、消費が伸びないとそれを返せない農家というのも実際にいた。継続的に農業ができるような環境が求められるのではないかなと思う。</p>	<p>県では、コロナ禍で消費が低迷した花きの利用拡大・消費喚起を図るため、令和2年度からは、空港や駅、商業施設等における花飾り展示を実施しています。</p> <p>また、「かごしまの花」をPRするため、花き関係団体と連携し、「フラワーフェスタinかごしま」や「フラワーコンテスト」を開催するとともに、子供たちの花に対する関心を高めるため、小学生を対象としたフラワーアレンジメント教室を実施しています。</p> <p>今後とも、花きの消費拡大を図るため、県民に対する「かごしまの花」のPRに努めてまいります。</p>	農産園芸課
部活動の 合同練習	<p>娘が女子サッカーをしており、日置市のチームに所属している。枕崎でもサッカーをしているが、3校合同でチームを作っている状況である。他の地域との合同だと練習相手もない状況なので、例えば市域内であれば、その学校に部活動だけ参加できるような仕組み作りはできないか。</p>	<p>少子化等の影響により単独の学校では日頃の練習も十分にできない部活動もあると聞いています。</p> <p>近隣の他校との合同練習については、各学校での判断になりますので、各学校長や顧問に相談していただきたいと思っております。</p>	保健体育課

知事とのふれあい対話（枕崎市）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
<p>移住に対する考え方</p>	<p>移住を経験している身だが、移住という選択はなかなかハードルが高いと感じている。しかし、都会では苦しみながら生活している人にとって、全く違う環境で生活することは選択肢としては良いことだと思っている。</p> <p>移住は、人口が増えているという点がある一方で、他の自治体から見れば、人口が減っているということである。そういう意味では、移住が根本的な人口減少の解決手段になるのか疑問に思っているが、どのように考えているか。</p>	<p>少子高齢化により人口減少が急速に進行している中、東京圏への一極集中の傾向が継続し、地方における人口、特に生産年齢人口が減少しています。このため、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある地域社会を実現するため、国、地方を挙げて、地方創生に取り組んでいるところです。</p> <p>本県においても、地方創生のための様々な取組を実施しており、その取組の一つとして、大都市圏等から本県への人の流れをつくるため、県内の市町村が実施している移住支援策や産業の特徴、先輩移住者からのアドバイスなどの情報をホームページやガイドブックを活用して情報発信しています。また、首都圏においては、専任の相談員を配置し、移住希望者等の相談に、積極的に対応しています。</p> <p>併せて、IOT、AIなどの革新的技術の導入等による生産性及び競争力の向上を図る取組、女性、高齢者、障害者、外国人等、誰もが活躍できる社会の実現に向けた雇用環境や生活環境の整備等の取組、結婚、妊娠・出産の希望を実現できる社会づくりを目指した、結婚を支援する体制の充実や安全かつ安心して妊娠・出産ができる環境の整備等の取組などの各種施策に取り組んでいます。</p> <p>今後とも、人口減少に対応するため、こうした地方創生に向けた施策をさらに推進する必要があると考えています。</p>	<p>産業人材確保・移住促進課</p> <p>計画管理室</p>